

## 2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [ 神崎市立神崎小学校 ] 担当教諭名 [ 松尾 純子・榎津 優規・吉田 まりか・梅崎 恵子 ]  
 交流相手国 [ 中国 ] ( 4年1組 32名 )( 4年2組 32名 )( 4年3組 31名 )  
 海外学校名 [ 上海日本人学校 ] 担当教諭名 [ 堤 聡子 ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	総合	上海浦東校と交流しよう	22
	国語	神崎市のリーフレットをつくろう	10
	図工	アートマイル壁画を上海の友達と完成しよう	10

### ■作品について教えてください。

題 (テーマ)	残したい神崎のよいところ、こうなったらいいな!! 10年後の神崎
絵に込めたメッセージ	神崎の街には長崎街道が通り、昔からの情緒ある街並みである。この昔ながらのよいところを残し、この自分の街の文化のよいところを上海の子どもたちに発信することによって、自分の住む地域のよさを再認識する。また、平和な未来がこうあってほしいという願いを絵に込める。



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
上海の同学年児童と ICT を使った交流活動を仕組むことにより、距離的には隔たりのある上海のことをさらに興味を持って学習することができた。(手紙・スカイプ・壁新聞・壁画など)また、交流のまとめとして一緒に壁画を描くことで、より一層上海の児童のことを身近に感じ、よりよい未来を一緒に作っていこうという気持ちが育った。	たまたま相手校が日本人学校であったため言語的制約のない中での交流であった。本来の「外国語を用いてコミュニケーションを図る」「異なる文化を持つ人々との交流等を体験し、文化等に対する理解を深める学習」には迫っていない。描画の時間が足りずに教師主導で構図を決めることも多かった。もっと児童に決定権を持たせたかった。プロジェクト児童は、よくリードした。

### ■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
二分の一成人式で保護者にお披露目。 佐賀新聞で取り上げられた。地域のラジオ2社から取材を受ける。 図工担当が、図工紀要にて実践報告。	授業参観で訪れた保護者から、「すごいですね！すばらしい取り組みですね」とたくさんの声をいただいた。児童は、思いがけず大きな壁画に制作意欲もわき地域に対する誇りと、制作が完成した自信をもった。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	7月	上海の児童に向けて、神埼のよいところをどう伝えていかを話し合い、スカイプ交流に向けて発信の準備をした。上海の児童から郵送便で上海の小物・児童の手紙が届く。全校児童の目に触れるように中央掲示板に展示。手紙の返事と日本側の壁新聞を発送。	オリエンテーションによって上海浦東校の児童と交流学習をすることを知る。海外に住む児童とリアルタイムにつながる事ができるという驚きもち、意欲が高まる。一人ひとりが何を調べてどう発信していくかめあてをもつことで絵画制作へのモチベーションも高まった。	総合2
情報収集	9月	海外の小学生の生活を調べたり、国語の地域の情報を集めて国語の神埼のリーフレットを作ろうでリーフレットを作成したりすることによって、異文化交流に対する意欲を高める。	相手の子どもたちの住んでいるところの文化と自分たちが住んでいるところの文化の違いとどこ同じところを見つけて共感していた。 中国という見知らぬ土地に対して親近感もち、将来の異文化交流に対する意欲付けとなった。	総合2 国語6
テーマ検討	10月	プロジェクト・チームの話し合いで、『いつまでも残したい神埼のいいところ、10年後の未来にこんな都市になっていたらいいな!!』に決定。古い街並みが、機能的満載の建造物・交通網で結ばれている・・・という構図の内容を話し合う。4年生全員にテーマに基づいて、アイデアスケッチを応募。	上海児童との郵便物のやり取りや、スカイプ交流会での地域紹介クイズなどで大変興味を持ち、相手国の学習に意欲的になった。 自由に空想できる未来図に喜び、アートマイル壁画に描きたいものを夢いっぱいアイデアスケッチした。	総合4 国語4 図工4
制作	11月 12月	上海プロジェクト・チームの児童が、4年生のアンケート上位に上がっていた6つ(せんだんの木・学校・長崎街道・ジェットコースターでつながる空中に浮かぶビル・山や木、花などの自然・吉野ヶ里遺跡)をグループに分かれて画面に配置していった。構図決定。下描き。アクリル絵の具仕上げ	残したいものと・未来のアイデアスケッチがうまく混ざるように話し合いながら、プロジェクト・チーム主導で描きこんでいった。一人一描画できるように自分のアイデアスケッチに基づいて図工の時間に描きこむ。プロジェクトの児童は昼休み制作。意欲的に活動した。 上海から、壁画が届く。上海側の絵にも描き込み。	総合11 図工4 昼休み
鑑賞	2月 3月	お互いに描きこみ合った二つの壁画を並べ合わせ鑑賞する。各クラス、壁画の前で記念撮影。アートマイルから届いた認定書を一人ひとりに手渡し保護者にも活動内容が伝わるよう配慮した。	自分たちの制作した壁画に満足感を持ち、自分と相手の児童が描きこんだ絵が混ざり合っ素敵な壁画になったことを喜んでいた。	総合3 図工2

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	3	5・④・3・2・1	相手に伝えるために、自分たちの文化を調べてスカイプ交流で伝えるクイズ作りをしたり、国語の神埼リーフレットを作ったりすることによって、あらためてふるさとの良さに気付いた。
異文化の理解	4	5・④・3・2・1	交流相手の文化や生活が自分と似ているところと違うところがあることが分かって、相手に対する関心が深まった。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)		⑤・4・3・2・1	テレビ会議をするために、原稿を作ったり発表の練習をしたりすることによって、コミュニケーション力も培われた。相手方の答えに対して、全員で同じ反応を返すことによって交流会も盛り上がった。
情報活用能力 (情報収集・発信)		5・4・③・2・1	インターネットや、図書館の本を使って情報を収集した。テレビ会議で、自分たちの収集した情報を発信することができた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	1	⑤・4・3・2・1	クイズの班、絵画制作の班と交流会に向けて同じ目標で頑張ることによってアイデアを出し合い、より良いものづくりをする人間関係ができた。 交流相手とも、物おじせず自分の言いたいことが言える関係が作れた。
協働する力 (役割分担・協力)	2	⑤・4・3・2・1	学級内での役割を分担し合っって活動した。
学習を追究する意欲		5・④・3・2・1	最後まで、上海のことをもっと知りたい、上海の児童にもっと伝えたいという意欲が持続した。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)	5	⑤・4・3・2・1	一人ひとりが相手に伝えたいことを、絵に表わして、みんなで一つの絵にすることができた。上海の絵に自分たちの絵を描き込む作業を入れたことで、より一層一緒に作り上げたという意識が生まれた。
作品を鑑賞する力		5・④・3・2・1	大変な、充実感と喜びをもって、仕上がった絵を見るすることができた。